

事業名称	練馬発！みんなのミュージアム事業		
実行委員会	練馬におけるキッズフレンドリー・ミュージアム事業実行委員会		
中核館	ちひろ美術館・東京		
	住所	〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-7-2	
	TEL	03-3995-0612	FAX 03-3995-0680
	ホームページ	https://chihiro.jp/	
構成団体	練馬区立美術館、特定非営利活動法人手をつなご		
事業開始時点の課題分析	<p>練馬区は都内でも人口が多く、年齢別では乳幼児が多いという特徴がある。若い子育て世代が多く暮らすこの地域では、保育サービスの需要も増加しており、更なる子育て支援の充実が求められている。文化庁からの補助金を受けて過去2年間「練馬区の子ども・子育て世代とともにある地域の美術館子育て支援事業」を行ってきたなかで改めて認識したのは、子育て世代は、家庭支援や子どもの教育・保育の充実だけでなく、子どもの成長環境の充実を強く求めているということである。子どもの成長環境の充実は、子どもだけでなく、子どもを取り巻くきょうだいや保護者等、家庭全体を支援することにも直結する。子どもとアートをつなぐ活動を一過性のもので終わらせず、子どもの育ちに継続的に寄り添うものにする必要もある。当実行委員会では、生活圏内にある美術館が異なる収蔵品や特徴を活かしつつ連携することによって、「地域における子育て」を芸術の側面から継続的に支援し、子育て世代を中心としながらも、あらゆる世代に対して開かれた活動を行うことが、地域の課題の解消に貢献するものと考えている。</p>		
事業目的	<p>本事業の目的は、地域（練馬区）において、0歳～小中学生の子どもとその保護者を中心としながら、あらゆる世代を対象に、美術館という空間で芸術作品に親しみ、豊かな感性と多様な価値観、安らぎ、そして郷土愛を育むことである。子育て問題の解決策の一環として、地域に根ざした美術館ならではの活動を通じた子育て支援を目指している。子育て広場の運営等を手掛ける「特定非営利活動法人手をつなご」と連携することで、引き続き、広く子育て世代に周知を目指す。過去2年間の連携をベースにししながら、各館で構築してきたノウハウを共有することで活動内容を一層充実させ、地域の美術館を生活のなかに位置づけ、インフォーマルな学びを楽しめる場としての定着を目指す。最終的には、地域の核たる事業として定着することを複数年度での目的とする。また、当事業では、参加者同士のアートを介した交流も重要と位置付ける。子育て世代だけでなく、あらゆる世代に向けて、いかに広くかつ細やかに情報を届けるか、インターネットも活用しながら参加者の底辺拡大を目指していく。</p>		
事業概要	<p>だれもが楽しめ、学べる機会となる展覧会やイベントを行う本事業全体を、「練馬発！みんなのミュージアム事業」と呼ぶ。本事業は、過去2年間の「練馬におけるキッズフレンドリー・ミュージアム事業」から継続、発展させ、親子を対象とする鑑賞教育活動、保護者の子育て支援事業、豊かな感受性と鑑賞力を深める体験型イベント等を行う。これらの事業全体の内容を一覧でき、子どもが美術館を楽しむ入口となるガイドブック的共同印刷物を制作して周知に努め、地域の文化活動の充実と子育て支援活動を展開する。また、学校教育との連携としては、小学校への美術鑑賞教育の実施や、近隣の小学校、特別支援学級への出前ワークショップを行う。あわせて教員向けの情報共有の場を設ける。また、来館者とアートをつなぎ、より深い鑑賞や理解を手助けできる核となる参加者を、地域住民（区民）から募集し、活動を支援する。</p>		
実施項目 ・ 実施体系	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携 □イ ユニークベニューの促進 □ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館 ■エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信 <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成 □イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発 ■ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施 ■エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業 <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> □ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動 □イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発 		

<p>実施後の 成果・効果等</p>	<p>ちひろ美術館が、練馬区立美術館と地域の子育てNPO法人とで連携し、だれもが楽しみ、学べる機会を提供する活動を展開して丸3年となる。本年も継続して、3団体で質・量ともに多くの情報交換を行い、その内容をイベントに反映するとともに、効果的な情報発信を行うことができた。その結果、当活動のプログラム参加者合計は2016年度253人→2017年度695人→2018年度1,112人と順調に増え、目標の前年比1.2倍以上を達成した。(区分(1)ア、エ、(2)ウ該当)</p> <p>「学校連携」においては、図工部会や教員研修の受入れ、ティーチャーズデイなどの開催、小中学校や特別支援学級への出前講座と校外学習の受入れを通じて、美術館の活用方法を学校関係者に多角的に体験してもらった。参加した教員たちからは「授業のアイデアをもらえた」「ぜひ出前講座をしてほしい」などの意見が寄せられた。今後も継続的に連携していく。(区分(2)ア、エ)</p> <p>本年度初めて取り組んだ「地域ネットワーク構築」では、地域で暮らす人々の「地域参加者」活動を組み込み、地域協働の第一歩として、展覧会活動と来館者をつなぎ、より深い鑑賞や理解をサポートするコミュニケーションの役割を、地域参加者たちに担ってもらった。来館者からは「やさしい声掛けとあたたかい対応がよかった」「シニアの私が展示室に入ろうか迷っていた時、声をかけてくださり感謝です」などとても好評だった。地域参加者たち自身も「最初のガイダンスで美術館の活動についてより深く学ぶことができた」「自分の力を発揮できて充実した時間だった」「空いた時間で社会貢献ができ有意義だった」「また機会があったら活動したい」と意欲的で、今後のさらなる発展が期待できる。(区分(1)エ、(2)ウ)</p>
------------------------	--

【事業実績】

中核館であるちひろ美術館・東京、および構成団体である練馬区立美術館において、地域とともにある美術館での子育て支援事業を実施した。

(1) 親子を対象とする鑑賞教育活動、子育て支援事業、体験型ワークショップの開催

- ① 夏休みギャラリートーク(8/13, 8/20)、
赤ちゃん・子どものための鑑賞会(11/23, 2019.1/14)、
トコトコ美術館(11/10, 11/11, 2019.1/26, 1/27): 参加人数延べ 230 名
- ② わらべうたあそび(9/29, 12/1)、親業講演会(11/17)、鼎談(11/25):
参加人数延べ 162 名

- ③ 出張子育てのひろば (11/13, 2019.1/18)
- ④ 保育者派遣 (11/17, 2019.3/31)
- ⑤ 体験型ワークショップ(8/2-4, 10/21, 2019.1/2-3, 1/19-20): 参加人数延べ 477 名
- ⑥ 利用者への広報活動(鑑賞ガイド:保護者向け、子ども向けの2種作成、配布)

(2) 学校と連携した活動

- ① 出前鑑賞教育、出前ワークショップ等(10/3, 2019.1/15, 3/16)参加人数延べ 198 名
- ② 出前活動に必要な教材の作成:複製画パネル、収蔵品カード
- ③ 教員向け内見週間、教員研修受け入れ、ティーチャーズデイ: 参加人数延べ 45 名
(7月~8月中旬, 7/26, 8/24, 9/29, 10/24, 11/3~11, 11/22, 2019.2/23, 3/21-31)

(3) 地域ネットワーク構築のための検討会議、アンケート調査

- ① 地域ネットワーク構築のための検討会議、アンケート調査(7/11, 8/12, 11/3, 2019.3/2)
- ② 地域参加者の募集(7/29~10/28, 11/3~2019.1/31)
- ③ 先進事例調査(12/13:世田谷文学館、12/22:東京都美術館)

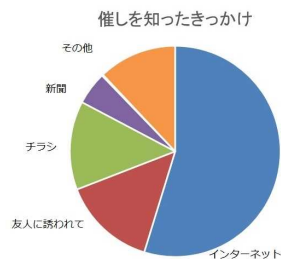


<p>※製作物</p>	<p>※掲載</p> <p>「博物館研究」(2018年12月号・公益財団法人日本博物館協会発行)のp.33-36「支部情報 関東支部」に、「練馬におけるキッズフレンドリー・ミュージアム事業—美術館としての子育て支援」を寄稿。</p>
--------------------	---

※参加者へ実施したアンケート結果(回収523枚)

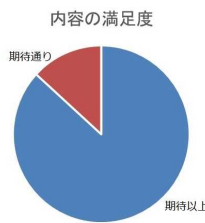
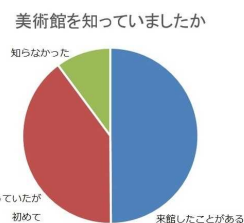
1. この催しをお知りになったきっかけ

- インターネット 54.8%
- 友人に誘われて 14.4%
- チラシ 13.6%
- 新聞 5.0%
- ちひろ美術館だより 0.2%
- その他 12.0%



2. 開催館(ちひろ美術館/練馬区立美術館)を知っていましたか

- 知っていて、来館したことがある 49.9%
- 知っていたが、初めて来館した 40.0%
- 知らなかった 10.1%



3. 内容の満足度

- 期待以上 86.8%
- 期待通り 13.2%
- 期待以下 0.0%

参加者からの声(アンケートより)

- 難しい話だと思っていたけれど、おもしろい話をしてくれたから楽しかった。
- 子どもとの美術館の楽しみ方が分かり、とてもよかったです。
- ギャラリートークは初めてでしたが、大人の私もとても楽しかったです。
- あかちゃんとはゆっくり鑑賞できる機会でもあり、子どもにじっくり向き合う、あたたかい時間を過ごすことができました。
- 子ども連れでもっと美術館に行こうと思える良いイベントでした。
- 技法を実際に体験することで、難しさがよく分かった。
- 見るだけでなく体験できたのでうれしかった。
- 参加者同士を自然につなげてくださって居心地がよかったです。